真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年5月1日

事務事業名	芸術文化活動支援事業	担当課・係	教育委員会　文化課　文化振興係
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	7　文化芸術の振興と文化財の保護・継承		

	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
成果指標	文芸・展示部門（茶道含）出品数、将棋大会参加者数	点	1,239					
	ホール部門出演目数	演目	45					
	入場者数	人	1,394					
	音楽祭観客数	人	934					

事業内容

①真岡市文化祭開催事業
毎年秋に開催しており、文芸・展示・ホール・茶華道展等を実施し、会場設営や応募作品の準備、芸術もおか（記録誌）発刊の事務を行っている。
②真岡市音楽祭開催事業
毎年11月に開催しており、コンクール形式をとらない音楽祭で市の交付金により運営している。小・中・高校の合同吹奏楽団や箏、和太鼓、合唱等幅広いジャンルの団体が参加する多彩な音楽祭という特徴がある。
③真岡市文化協会運営補助事業
文化協会は7部会で構成され、文化団体相互の連絡調整を図るとともに、真岡市の文化水準の向上を図ることを目的に組織されている。

前年度の課題（Check）

文化祭出品者の高齢化、固定化、来場者の減少が大きな課題である。
音楽祭は、観客数、参加者数とも前年度より減少した。イベント（例大祭等）があり分散したことも要因と考えられる。
文化協会加入団体は、会員数とともに少子高齢化や文化活動の取り組みの多様化、コロナの影響により減少している。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
①（真岡市文化祭）
開催期間：10月から11月、表彰式11月29日、会場：久保講堂・公民館・市民会館・青年女性会館
②（真岡市音楽祭）
開催日時：11月8・9日、13時開演、16時終演、会場：真岡市民会館大ホール
③（真岡市文化協会）
役員研修：東京歌舞伎座　1月20日
県文化振興大会：那須野が原ハーモニーホール　2月13日

【2】結果と課題（Check）
文化祭においては、出品・参加者数が減少しており、さらに広報活動に努める。
音楽祭は、２日間に分散し時間短縮等が功を奏し参加しやすい、入場しやすい音楽祭として観客数も増加して好評である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
文化祭においては体験教室の拡充や、出品しやすい応募項目見直し、広報活動の検討が必要となる。
文化協会加入団体の活動内容を周知協力し、個々の活動を支援する。

(2) 長期的な計画で検討すること
少子高齢化による、芸術文化活動の縮小対策